

新年あけまして おめでとうございます。

昨年の日本の株式市場は日経平均で5割近く値上がりし、世界で一番の株価上昇率となり、昨年この欄で触れさせていただいた相場格言の「辰巳天井」通りの大相場となりました。そして今年には「午（うま）年」です。午年は株式市場の相場格言では「尻下がり」と言われ、株式市場では一番悪く、年間の平均騰落率はマイナス7.47%だそうです。実際、前回の午年は2002年で会計疑惑やデフレスパイラルから日経平均は9,000円割れと急落の年でした。4月には消費税増税が控えていますが、やはり相場格言通り少し停滞するのでしょうか。

また、昨年、下記のトピックの通り、弊社に生命保険担当の社員が新たなメンバーとして加わりました。今後お客様本位のニーズにあった保険のご提案と生損保一体となったモレなくムダのない保険のご提供でお客様に本当のあんしんをお届けしていくために少しずつですが、体制を整えていきたいと思っております。

今後も皆様方に心からのあんしんをお届けできるように、社員一同、日々精進に努めて参りたいと考えておりますので、引き続きご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

トピック

初めまして。
10月に入社しました **坂本 建二** です。



岡山県出身の44歳です。4人家族で娘2人の父親です。食品商社、外資系保険会社を経て生保担当者として入社しました。

特技：日本ソムリエ協会認定のワインアドバイザーです。

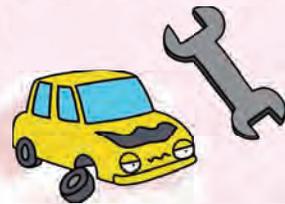
お役立ち情報

～リサイクル部品について～

先日、リサイクル部品の工場に見学に行ってきました。現在日本では1年間に約400万台の車が廃車になっているそうです。以前は不法投棄や不適正処理が社会問題化しましたが、それを防止するためにできた法律が「自動車リサイクル法」です。この法律によって廃車は適正に処理されるようになり、現在車の総重量の95%はリサイクルされています。また、リサイクル部品は新たなエネルギーをほとんど使用しないため、CO2削減にも大きく貢献しています。

しかし、リサイクル部品は古い車や事故車から取り外した部品のため、大丈夫なのかと心配される方が多くおられますが、現在、リサイクル部品は品質も高く、保証もついているので、安心して利用できるということでした。実際アメリカの修理の40%はリサイクル部品を使用しており、日本でも国が「グリーン購入法」の製品としてリサイクル部品を使った修理をすすめているということでした。

また、リサイクル部品の最大のメリットは価格が安いということです。新品部品と比較してだいたい半額～6割程度で販売されています。たとえばリアバンパーでは新品部品価格33,000円がリサイクル部品価格だと18,000円ぐらいです。今後は自動車保険の等級制度が改定され、事故された時に、修理代によってはご自身で修理代を負担された方が良いケースも増えてきます。その際にはリサイクル部品の活用をご検討されても良いかもしれません。



ご来店キャンペーンのご案内

今回は会社紹介コーナーをお休みさせていただき、今年から弊社で行いますご来店キャンペーンのご案内をさせていただきます。

今年から弊社では新たな取り組みとして、個人のお客様に対しては更新のご案内が到着した頃に事務担当者から更新のご案内が届いているかどうかの確認と、事前にお聞きしておきたい事項の確認のご連絡をさせていただくことになりました。また、その際に更新手続きに関して、営業担当以外の他のメンバーのことや事務所の様子等全員でお客様のことをお守りさせていただいていることをご理解いただくために、ご来店での更新手続きのお声掛けさせていただきます。

そしてその取り組みの一環として今回、ご来店キャンペーンを実施させていただくことになりました。

更新手続き、あるいは保険のご相談でご来店いただいた方には「広島県産古代米入りこしひかり(1合)」をプレゼントさせていただきます。



プレゼント企画当選者のご紹介

前回夏号のプレゼント企画「株式会社 五光産業」様“香味山陽路佃煮4箱詰合せ”の当選者は以下の3名の皆様でした。ご当選おめでとうございます。

広島市南区 山福 康幸 様
広島市西区 庄司 栄子 様
広島市西区 柳川 翔太 様